東京東村山ロータリークラブ





国際ロータリー・テーマ

こころの中を見つめよう 博愛を広げるために





Vol.44 第2210回例会

2012.4.12

今年度会長テーマ

和の心 自然に学びて未来を創ろう

■司会: 山宮例会運営委員



■点鐘:小町会長

■合唱:ロータリーソング 「我等の生業 |

◆ソングリーダー: 中條会員



■会長報告

小町会長



昨夜はインドネシアスマトラ沖でM8.6の地震発生しましたが、津波被害は少なかったようです。東日本大震災のM9クラスは数年から10年は地震が多く起きるそうです。日常の備えは必要です。さて、6日は立川パレスホテルにて本、次年度合同分区連絡会が開催されました。我クラブからも7名で参加しました。分区全体で現在、会員数231名、1クラブ平均33名ですが、各クラブも会員の減少に苦慮していますが、やはり活動に力をいれたクラブ運営をするには45か

ら50名の会員数は必要です。地区委員数は本年は19 名、次年度29名と増員しています。活発な活動を期 待します。話は変わりますが、先頃の新聞記事に眼 をひかれました。北海道えりも岬、風速10メートル を超す日が年間300日に近い、日本屈指の強風地帯。 沖から流れ着いた昆布を拾う、この昆布が昔も今も 生計の命綱だそうだ。この地に56年前小樽から嫁い だ飯田雅子さん(77歳)は初めて迎えた朝、山肌のひ び割れ、乾い赤土に草木なく、濃い砂嵐の向こうに は泥の海が広がっていた。「人が住んでいることが不 思議でした | と語っています。以前、広葉樹林が一面 だったが明治の終わり頃、漁を求め本州からきた和 人が暖房や煮炊きに木を切り砂漠化になったようです。 飯田さんの御主人が1953年200haのはげ山の緑化を80 人ほどが手作りで草の種をまいたそうです。だが、 種や芽は表土ごと風に吹き飛ばされた。そんな中、 地元でゴタと呼ぶ雑海藻を土にかぶせ、草木を安定 させ植林へと草木を植えていった。そして海に豊か な昆布が戻った。飯田さんの長男、お孫さんが今、 ハンノキ、ミズナラを植え込んでいる。本来の植生 に戻す作業をしているそうです。山と海の関係は岩 手の牡蠣養殖も山からの恩恵を受けています。自然 から学ぶ話で感動しました。

歌でも島倉千代子、吉田拓郎の「えりも岬」が観光に一役かっています。歌詞に「えりもの春は何もない春です」はこのころ苗木を植え始めたころで納得しながら悔しかったと飯田さんは語っています。

■幹事報告

野村幹事



- ■例会日/毎週木曜日 12:30~13:30
- ■例会場/八坂神社 社務所

〒189-0013 東京都東村山市栄町3-35-1

- ■クラブ管理委員会/赤木 盛-
- ■事務所/〒189-0013

東京都東村山市栄町3-5-1ハイツむさしの101 TEL 042-393-7500 FAX 042-395-1166 ■米山奨学委員会: 米山奨学委員会からデータの受理

■ガバナー事務所: 第3回日台ロータリー親善会議開催の案内について 2012年6月1日(金) 13:00~ 於 ホテルグランヴィア京都

■国際ロータリー日本事務局: ベネファクター賞状とピンの受理 小町幸生会員

■バギオ基金: バギオ基金第3回臨時評議員会の開催について 2012年5月14日(月) 17:00~ 於 弘済会館

■東村山緑を守る市民協議会: 第4回全体幹事会のお知らせについて 4月24日(火) 18:30~ 於 市役所北庁舎

■スポーツ祭東京2013東村山市実行委員会: スポーツ祭東京2013東村山市実行委員会第3回総会 について 2012年4月21日(土) 13:30~ 於 市民センター2F

■唱和

第10章 自分の職業の水準と品位を高める努力は 職業奉仕だ

■出席報告 石山例会運営委員長



在籍会員数	出席	免 除	欠 席	出席率
33	24	0	7	77.42

■前々回メークアップ修正後前々会欠席:6名 ■前々回出席率メークアップ修正後:80.65%

■前々会メークアップ者: 飯田会員:京都西RC 石山会員:理事会

野崎会員:地区米山奨学会

田中会員: 理事会

ニコニコ B O X

島田例会運営委員



◆野澤会員:野村さん、荻野さん、本日のイニシエーションスピーチ楽しみにしていいます。

◆小町会長:野村さん、荻野さん、本日のイニシエーションスピーチ楽しみにしていいます。

◆中丸会員:野村さん、荻野さん、本日のイニシエーションスピーチ楽しみにしていいます。

◆野村幹事:野村さん、荻野さん、本日のイニシエーションスピーチ楽しみにしていいます。

◆山本会員:野村さん、荻野さん、本日のイニシエーションスピーチ楽しみにしていいます。

◆戸澤会員:野村さん、荻野さん、本日のイニシエ ーションスピーチ楽しみにしていいます。

◆目時会員:野村さん、荻野さん、本日のイニシエ ーションスピーチ楽しみにしていいます。

◆赤木会員:野村さん、荻野さん、本日のイニシエーションスピーチ楽しみにしていいます。

◆嶋田会員:野村さん、荻野さん、本日のイニシエーションスピーチ楽しみにしていいます。

◆野村会員:本日イニシエーションスピーチをさせて頂きます。不慣れな体験ですがよろしくお願い致します。

◆荻野会員:本日イニシエーションスピーチをさせて頂きます。不慣れな体験ですがよろしくお願い致します。

◆田中会員:野村会員、荻野会員、今日は頑張って下さい。6月1日のFRCゴルフコンペ参加の程お願いします。明日鳩山カントリークラブ(今年度クラブ対抗会場)選手7名より4名の正選手を選ぶ試合があります。ベスグロ72を目標に死ぬ気で頑張ります。絶対正選手になりたい

です。

本日のニコニコ合計: 27,000円 累 計 :1.020.322円

■委員長報告

■戸澤国際奉仕委員長



こんにちは。ご報告の前に、皆さん知っていらっしゃいますか、先週聞いたのですが、昔は我々の年代の人は、おむつは木綿でしたが、最近紙おむつがものすごく流行っており、ほとんどが紙おむつらしいです。というのは、子供用の紙おむつよりも大人用の紙おむつの方が多くなってきたそうです。びっくりしました。

さて、オンツーバンコクですけれども、近くなりました。今週請求書と案内が行っているかと思いますが、27名で当初の予定通りで行けそうです。中條さんに協力して頂いてバスを大きくして、武蔵村山、東大和との3クラブが全員一緒のバスで行けることになりましたので、私からまたご案内致します。宜しくお願い致します。

■目時プログラム委員長



皆さんこんにちは。最初に、会長の方から多摩国際 分区の会員数の数を聞いて私はびっくりしました。 230人と言ったら、私が戸澤さんに幹事をお願いした 時から4年しか経っていないのに、50名減っているの ですよね。その前の土方先生の時から百何十人減っ ているのです。これは東北だけではなく、全国に言 えることなのですが、ロータリーの危機だと思います。 ぜひ心して皆さんロータリー活動に励んで頂きたい と思います。

プログラム委員長をして1年ちょうど、大体プログラ ムのスケジュールが埋まったのですが、先ほど幹事 の方からお話があったように、外部の卓話者を呼ぶ のにものすごく気を使いました。そういう勇気が私 は多い方ですが、声が掛けられなかったのです。本 当に申し訳ないのですが、しかし、今日見て下さい。 外部の卓話者の方が来られたら、びっくりすると思 いますよ、これがあの東村山の出席数ですかと。会 員数もそうですけれども、最近は出席率も悪すぎます。 それと、今日お願したいのは、19日に三遊亭亜郎さ んを会長の顔で呼んで頂いています。しかし、この 出席率でしたら大変なことになりますよ。会長から ご了解を頂きましたので、奥様のご出席と、また出 来ましたら社員でも構いませんのでお願いしたいと 思います。私も女房を始め出席させて頂きますので。 今後とも何とか出席率をもう少し高めて頂きたいと 思います。20日がちょうど地区協議会なのですね。

それがあって、19日メークアップがあるから今日欠席されているのなら構わないのですが、19日は会長がわざわざ熱心に声を掛けて来て頂くので、ぜひ一人でも多く、一つ宜しくお願い致します。

■山本地区 オンツーバンコク委員



皆さんこんにちは。あと22日寝るとオンツーバンコクになります。20日をすぐ切ってしまうので、是非皆さん体調の方を整えて頂いて、元気にご一緒に行けたらと思います。

それと、昨日あたりに請求書が届いております。皆様には頭金をお納めになって頂いていると思いますので、その内容をご確認頂いて、金額をご確認の上、銀行振込みという形でお振り込みをお願いしたいと思います。是非5月5日の日は、申し込まれた方は全員元気に揃って行きたいと思います。あと一つ、パスポートだけ忘れないようにきちんと準備をしておいて頂きたいと思います。以上です。宜しくお願い致します。

■ロータリー財団 ベネファクターの授与

■小町会長



■イニシエーション・スピーチ

■野村(裕)会員



去年3月24日に入会致しまして1年強が経過しました。 諸先輩の中に居て未だ新人の域を脱せませんので、相 変わらずのご指導をお願いします。

自己紹介をさせて頂きます。昭和23年12月22日生まれの63歳です。山宮会員とは同月日で、田中会員とは1日違いです。東村山の廻田で生を受け、サラリーマン生活で延べ十数年ほど地方に出ただけで、それ以外はずっと廻田に住んでいます。団塊世代真っ只中の世代です。少子化ではなく多子化の時代ですので、学校不足の時

東京東村山ロータリークラブ

代でした。その変遷は、化成小旧廻田分校に入学し、 現廻田小の所の廻田分校に、その後4年生から化成小へ 行き、5年生の途中に廻田分校に戻り廻田小として独立 し、廻田小第1回生として卒業し、1中に入学し、3年の 途中に4中が出来、4中の第1回生として卒業という具合 です。高校は柔道部に明け暮れ、大学はクルマ遊びに 明け暮れていました。大学時代は学園紛争が華やかな 頃で、学校封鎖は日常茶飯事の時代でした。授業がな いのをいいことに、自動車クラブに専念して、サンバ ーのシャシーをベースにFRPでボディを手作りして、 さながらスポーツカースタイルにして走らせました。 という事で趣味はクルマです。TVの自動車学校で勉 強知識を得て、自宅周りの農道を教習コースとして、 16歳の誕生日に小金井試験場へ行き、見事に実技不合 格でしたが、3回目に免許証を手にしました。学生時代 からラリーに出ていて、名(迷)ドライバーであったと 自賛していますが、トロフィーももらいました。趣味 をそのまま仕事にしたいとの思いで自動車会社だけを 目標に会社探しをして、結果的に富士重工に入りました。 入ってから思ったことは、趣味と仕事は大違いという 事でした。趣味は大事にしまっておくべきだったと思 いました。結果的には40年間で自動車の基礎を作ると ころから売ることまでほぼ網羅的に担当が出来ました ので、幸せでした。部品供給ではフォークリフトやモ ートラックを操り、スピードを出し過ぎてひっくり返 ったり、乱暴なことをしながら生産進捗管理で全行程 を渡りました。その中で、スチールコイルを切断して プレスし形にする二千トンプレスの落ちるすごさと怖 さを感じながら仕事をしました。これを溶接するのに まだ大部分が人手で打っていたので、飛んできた火花 で作業服が穴だらけになる工程をやりました。Wワイ トボディが出来上がると塗装ですが、塗装が一番嫌う のは埃やチリです。作業服に着いているちょっとした 埃がボディについてしまうと不合格で再塗装です。工 場が群馬でしたので、冬の上州空っ風が吹くと、不合 格続出で生産計画が大狂いでした。小学生の工場見学 コースで一番楽しいのは、艤装(部品取り付け)工程で すが、見るのは面白いですが作業は辛いものでした。 早いピッチタイムに追いかけられたり立ったり座った り体力勝負のところです。空調がなかった時代ですので、 あせもだらけで仕事していました。

原価管理では目標原価になかなか到着出来ず、開発部隊といつもケンカでした。興奮しすぎて背骨がいつまでも痛みました。クルマ売りは神奈川県でやりました。工場で得た知識をフルに活用して一杯売れました。当時はCPでよく海外旅行がかかり、CP男と呼ばれていた私は、大いに売って香港やシンガポールなどによく行きました。

セールスマンを卒業して本社の販売部門へ行き、近畿中国が担当エリアとなりました。販売店は県単位にほぼ子会社組織になっており、セールスの時と立場が逆で子会社に馬人参を付ける役でした。目標の押し込み(今は使えない用語)と運転資金の面倒見が仕事でした。岡山を担当していた時、当時出来たトマト銀行から資金を借りるわけですが、業績が悪く親会社の保障がないと金を貸してくれない状況でした。不渡りで倒産には出来ないので、稟議書を駆け足で持ち回って社長までハンコをもらって新幹線で債務補償書を届けたなんてこともありました。

そうこうしてようやく入社から23年後、45歳の時に念願の商品企画に移りました。ここでようやく趣味と仕事が一致できる土俵に入れました。まずサンバーのクラシック企画、これが当たり、レトロ感覚のクルマのはしりとなりました。VIVIOのビストロのあとか

らスズキ、ダイハツなど追随して出してきました。次がPLEOの企画です。1998年12月に発売ですが、数年前から構想に着手しました。軽の衝突安全向上のために規格を見直し、サイズを大きくすべく自工会として運輸省に働きかけをしていたそのサイズでの構想です。この規格に決まるまでに経過がありました。スズキの鈴木修社長を先頭に軽業界はEGを800ccとすべく交渉してきたのですが、自工会のボスTOYOTAの反対でEGは従来通りになってしまいました。それが今の軽規格 $3.4m \times 1.48m$ 、660cc、50km/hでの前突で乗員が保護出来るということで出来上がった車でした。

新しいクルマに新しいネーミングとしてPLEOと命名しました。決定までぐにゃぐにゃ考えて調べたら、商標権はBSが所有していたので交渉して譲ってもらいました。業界のなかでは当時10万円で売買をしていました。買ったのはPLEO、売ったのはNADIA。自分で考えて登録しておくと売れます。今はほとんど登録してあって新しく登録するのが難しくなっていると思いますが。

PLEOが終わって、大黒柱のLEGACYの担当G Mです。開発はすべての部署(設計、実験、デザイン等) から担当を指名した組織横断型のPTスタイルで行い ました。そのPTリーダーが開発車のすべての責任を 持ちます。そのLEGACYのPTリーダーは遣り甲 斐がありました。仕様、性能など全てのことをリーダ ーとして一つ一つ決断していく。決めていかないと前 へ進めません。大きい事はスタイル、カラー、HDL P形状、アルミデザイン、乗り心地とタイヤ性能との バランス。小さい事はビスの材質、内装の小物までです。 開発期間3年間は始業8時、終業夜11時、終わらなけれ ば1時2時までも行いました。発売日程は絶対確保で、 大日程を崩すことは許されないのが開発です。運転す る楽しみ、操る楽しみは何物にも代えがたいのです。 これを理論と実践で詰めていくのは苦しく楽しい仕事。 開発が進み、試作車をテストコースで試乗するフィー リングは格別の緊張と楽しみです。エンジンを始動し てアイドリング音を聞く、スタートして低速、高速走 行をして加速感や風切り音、タイヤ音、室内音、振動、 ハンドリング、BRKフィールなど全ての感覚を集中 させて頭・体にインプットしてOKか否か判断して方 向性を出す。その緊張感は何とも言えない充実感です。 開発の最終コーナーは、発表前の自動車ジャーナリス トへのお披露目試乗です。新車の売れ行きは自動車雑 誌の試乗記事の善し悪しが大きく影響します。そのた めに売れるように書いてもらいたい。田中会員の言わ れるように、熱く語りクルマの良さをPRするわけです。 アメリカでも同じです。ただ英語の苦手な自分は通訳 を介するため、苦労しました。アメリカ専用車として レガシィワゴンをベースにピックアップを作りました。 アメリカの大きいピックアップに対抗して小さいボデ ィでも負けない機能を付けようとアイデアを絞りました。 考えればアイデアは出てくるもので、短い荷台に長い ものが積めるようにバックパネルに開閉式ラッチを付 けました。安全性、剛性確保に苦労した記憶が残りま した。

また、造って採算が合わなければ当然ダメですので、 採算確保のために3000台/月でトップの承認をもらいま したが、実際は半分の実績で残念ながら収益アップに 貢献できませんでした。これが役員になれなかった理 由かもしれません。富士重工で最後は好きなクルマ造 りを担当しましたので、趣味とほぼ一致できたかなと 思っています。

そして、部品用品販売会社スバル用品の子会社に移り、 そこで役員定年して家へ引っ込んだところで、野澤先 生にお誘い頂き、ロータリークラブに入会させて頂いた次第です。野澤先生にレクチャーを受け、資料に目を通し、気に入った所は「ロータリーは人生哲学である。」「自分の欲求と他人のために奉仕をしたいという感情の間の矛盾を和らげるための実践倫理である。(決議23-34)」「例会は人生道場である(米山梅吉さん)」という言葉でロータは大生道場である(米山梅吉さん)」という言葉でロータリアンと違いますので、自分の分をわきまえながらロータリー精神を実践していければいいなと考えています。生まれた地元にいながら今まで地元地域の本質は解りませんでした。しかしロータリアンになって1年経過し、皆さんと一緒にいて少しずつ解ってきたこともありまけるのご指導を頂きながら人生道場で修行をしていき考えています。宜しくお願い致します。

■荻野会員



桜舞い散る今日この頃です。皆様におかれましては目 を楽しませてくれる桜ではありますが、私達職人にと りましては、厄介者です。なぜなら、花びらが風とと もにペンキを塗ったところについてしまうからです。 ロータリーに入会致しまして、早いもので半年になりま すが、まだわからないことだらけです。入会するきっか けを作って下さったのは村越様です。村越様とはお施主 様として出会いました。村越様の持ち物の建物の塗装工 事を請け負わせて頂きました。その際に色きめの打合せ をさせて頂いた時、お立ち合いになられたのが現会長で いらっしゃいます小町様です。打合せの際に村越様から、 「地元の青葉町で何か活動をしていますか。」というよう な内容の質問をお受け致しました。「私は、ゴルフ競技 委員長、副会長と青葉夏祭り実行委員長を5年間させて 頂いております。」とお答え致しました。「では、ロータ リーに入会をして活動をしないか」というお誘いを頂き ました。

自分にとってロータリーは無縁で雲の上のような存在であり、何をどのように活動したらよいのか迷いました。人生の勉強をさせて頂いて、それが少しでも世の中の役に立てれば、それはロータリーの本望ではないかと思います。そのような中で、野澤先輩に声を掛けて頂きました。「自分が出来ることをやればいい。」と言われ、とても気が楽になりました。ロータリーの皆さんは奥が深いです。40周年の後の野澤様のお話や立川のホテルでの新人研修の話など、会員の皆様がロータリーの活動に対し哲学をお持ちであることを知りました。お話を聞けば聞くほど自分は至らないと思いますが、少しでも近づきたいなと思う今日この頃です。

先日、ロータリーのメンバーを1人見つけて、声をかけました。できれば33人よりは40人と仲間はたくさんいた方が良いと思いますし、皆さんと少しでも仲間になれたのはロータリーのお陰で、自分にとってプラスになったと思っております。

話は変わりますが、私は群馬県の下仁田町の出身です。 特産品は下仁田ねぎ、こんにゃくで有名な田舎で育ち ました。上履きが10円の藁草履でしたので、学校は藁 だらけでした。また、私は小学校3年生の担任の先生が 初恋の方でした。学校の手伝いしながら先生が帰るの を待って、自分の家まで、自転車の後ろに乗せてもら って帰りました。今ではとても良い思い出です。

まだ話したい事がたくさんありますが、時間が来てしまいましたので、続きは次回へのお楽しみとさせて頂きたいと思います。今後とも宜しくお願い致します。

■24年3月出席表

	Т 0/1 Щ/1 24	T .	_					
	氏 名	1	8	15	22	29		
名	細渕 一男				i			
1	相羽 正	0	0	\triangle	i	0	100	
2	赤木 盛一	0	0	\triangle	i	0	100	
3	土方 義一				i		0	
4	飯田 能士	\triangle	\triangle	\triangle	i	\triangle	100	
5	石山 敬	0	0	0	i	\triangle	100	
6	樺澤 襄	0	0	0	i	0	100	
7	金子 哲男	0	0	0	-	0	100	
8	北久保眞道				i		0	
9	熊木 敏己				i		0	
10	小町 幸生	0	0	0	-	0	100	
11	目時 俊一	0	Δ	0	-	0	100	
12	村田 秀雄	0	0	\triangle	-		75	
13	中條 基成		0	0	i		50	
14	中丸 繁男	Δ	0	0	i	0	100	
15	野村 高章	0	0	0	i	0	100	
16	野村 裕夫	0	Δ	Δ	i	0	100	
17	野崎 一重	Δ	Δ	0	i	Δ	100	
18	野澤 秀夫	0	0	0		0	100	
19	荻野 昇	0	0	0	i		75	
20	嶋田 憲三	Δ	0	0	i	0	100	
21	島田 良親	0	0	0	i	0	100	
22	田中 重義	0	0	0	i	Δ	100	
23	當麻 誠	0	0	0	-	0	100	
24	戸澤 忠	0	0	0		0	100	
25	漆原 次男	0	0	Δ	i	0	100	
26	山宮 隆		0	0	i	0	75	
27	山本 智治		0	0		0	100	
	公式平均	84.38	90.32	89.66		80.65	86.25	
出席規定適用免除者								
1	隅屋 宜一	0	0			0		
2	五十嵐光利	0	0	0	1	0	100	
3	神﨑 武	0						
4	高橋 眞							
5	村越 政光	0	0		i	0		
6	町田 清二	Δ	Δ	Δ	I	0	100	
		送今日)・東藤			ークマップ	

名:名誉会員 ○:出席 △:メークアップ

■点鐘:小町会長